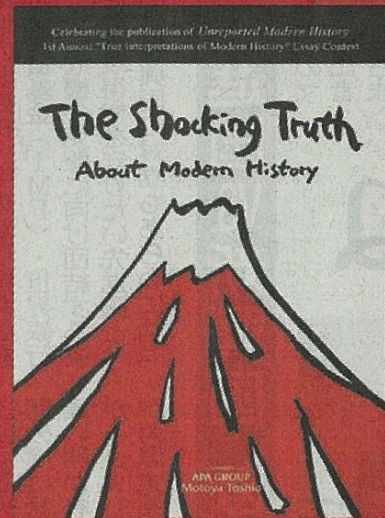


意見広告

「報道されない近現代史」出版記念 懸賞論文受賞作品集  
—— 第一回「真の近現代史観」——



英語版



日本語版

謀略に翻弄された近現代  
**誇れる国、日本。**

12.8(月)より

全国の  
アパホテル  
などにて

**発売!**

企画・発行 元谷外志雄

定価:1,000円(税込)

インターネットでのお申込は [www.apa.co.jp](http://www.apa.co.jp)

「報道されない近現代史」の出版を記念し、  
歴史論文顕彰制度を創設、一般からの論文を募集しま  
全国から応募された235の論文の中から、受賞作品

最優秀  
作品

日本は侵略国家

「真の近現代史観」論文顕彰制度「最優秀 藤誠志賞」

アメリカ合衆国軍隊は日米安全保障条約により日本国内に駐留している。これをアメリカによる日本侵略とは言わない。二国間で合意された条約に基づいているからである。我が国は戦前中国大陸や朝鮮半島を侵略したと言われるが、実は日本軍のこれらの国に対する駐留も条約に基づいたものであることは意外に知られていない。日本は十九世紀の後半以降、朝鮮半島や中国大陸に軍を進めることになるが相手国の了承を得ないで一方的に軍を進めたことはない。現在の中国から「日本の侵略」を執拗に追求されるが、我が国は日清戦争、日露戦争などによつて国際法上合法的に中国大陸に権益を得て、これを守るために条約等に基づいて軍を配置したのである。これに對し、圧力をかけて条約を無理矢理締結させたのだから条約そのものが無効だという人もいるが、昔も今も多少の圧力を伴わない条約など存在したことがない。

の日本軍に對し蒋介石国民党は頻りにテロ行為を繰り返す。邦人に対する大規模な暴行、惨殺事件も繰り返して発生する。これは現在日本に存在する米軍の横田基地や横須賀基地などに自衛隊が攻撃を仕掛け、米軍人及びその家族などを暴行、惨殺するようものであり、とても許容できるものではない。これに對し日本政府は辛抱強く和平を追求するが、その都度蒋介石に裏切られるのである。実は蒋介石はコミンテルンに動かされていた。一九三六年の第二次国共合作によりコミンテルンの手先である毛沢東共産党のゲリラが国民党内に多数入り込んでいた。コミンテルンの目的は日本軍と国民党を戦わせ、両者を疲弊させ、最終的に毛沢東共産党に中国大陸を支配させることであつた。我が国は国民党の度重なる挑発に遂に我慢しきれなくなつて一九三七年八月十五日、日本の近衛文相内閣は「支那軍の暴戾(乱暴)で道理がないを膺懲(こらしめる)し以つて南京政府の反省を促す為、今や断乎たる措置をとる」と言う声明を発表した。我が国は蒋介石により日中戦争に引きずり込まれた被害者なのである。

一九二八年の張作霖列車爆破事件も関東軍の仕業であるといふ長い間言われてきたが、近年ではその連情報機関の資料が発掘され、少なくとも日本軍がやったとは断定できなくなった。「マオ(誰も知らなかつた毛沢東(ユンチアン、講談社)」「黄文雄の大東亜戦争肯定論(黄文雄、ワック出版)」及び「日本よ、歴史力」を磨け(櫻井よしこ編、文藝春秋)」などによると、最近ではコミンテルンの仕業という説が極めて有力になつてきている。日中戦争の開始直前の一九三七年七月七日の盧溝橋事件についても、これまで日本の中国侵略の証みだに言われてきた。しかし今では、東京裁判の最中に中国共産党の劉少奇が西側の記者との記者会見で「盧溝橋の仕掛け人は中国共産党で、現地指揮官はこの俺だ」と証言していたことがわかつている。「大東亜解放戦争(岩間弘、岩間書店)」も「日本が侵略国家であつた」というのなら、当時の列強といわれる国で侵略国家でなかつた国はどこかと問いた。よその国がやったから日本もやつていいということにはならないが、日本だけが侵略国家だといわれる筋合いもない。我が国は満州も朝鮮半島も台湾も日本本土と同じようにに開発しようとした。当時列強といわれる国の中で植民地の内地化を図ろうとした国は日本のみである。我が

国は他国との比較で言えば極めて穏健な植民地統治をしたのである。満州帝國は、成立当初の一九三一年一月には三千万人の人口であつたが、毎年一〇〇万人以上も人口が増え続け、一九四五年の終戦時には五千万人に増加していたのである。満州の人口は何故爆発的に増えたのか。それは満州が豊かで治安が良かったからである。侵略といわれるような行為が行われるところに人が集まるわけがない。農業以外にほとんど産業がなかつた満州の荒野は、わずか十五年の間に日本政府によつて活力ある工業国家に生まれ変わった。朝鮮半島も日本統治下の三十五年間で一千三百万人の人口が二千五百万人と約二倍に増えている。朝鮮総督府統計年鑑。日本統治下の朝鮮も豊かで治安が良かった証拠である。戦後の日本においては、満州や朝鮮半島の平和な暮らしが、日本軍によつて破壊されたかのように言われている。しかし実際には日本政府と日本軍の努力によつて、現地の人々はそれまでの圧政から解放され、また生活水準も格段に向上したのである。

我が国は満州や朝鮮半島や台湾に学校を多く造り現地のインフラも数多く残している。また一九二四年には朝鮮に京城帝國大学、一九二八年には台湾に台北帝國大学を設立した。日本政府は明治維新以降九つの帝國大学を設立したが、京城帝國大学は六番目、台北帝國大学は七番目に造られた。その後八番目が一九三二年の大阪帝國大学、九番目が一九三九年の名古屋帝國大学という順である。なんと日本政府は大阪や名古屋よりも先に朝鮮や台湾に帝國大学を造つてゐるのだ。また日本政府は朝鮮人も中国人も陸軍士官学校への入校を認めた。戦後マニラの軍事裁判で死刑になった朝鮮出身の洪恩湖という陸軍中將がいる。この人は陸軍士官学校二十六期生で、硫黄島で勇名をせせた栗林忠道中將と同期生である。朝鮮名のままで帝國陸軍の中將に栄進した人である。またその二期後輩には金錫源大佐がいる。日中戦争の時、中国で大隊長であつた。日本兵約二十名を率いて何百年も虐められ続けた元宗主国の中国軍を蹴散らした。その軍功著しいことにより天皇陛下の金賜勲章を頂いている。もちろん創氏改名などしていない。中国では蒋介石も日本の陸軍士官学校を卒業し、新潟の高田の連隊で隊付き教育を受けている。二期後輩で蒋介石の参謀で何応欽もいる。

李 王朝の最後の殿下である李垠殿下も陸軍士官学校の二十九期の卒業生である。李垠殿下は日本に對する人質のような形で十歳の時に日本に來られることになった。しかし日本政府は殿下を王族として丁寧に遇し、殿下は学習院で学んだあと陸軍士官学校を卒業した。陸軍では陸軍中將に栄進され、活躍された。この李垠殿下のお妃となられたのが日本の梨本宮方子妃殿下である。この方は昭和天皇のお妃候補であつた高貴なお方である。もし日本政府が李王朝を潰すつもりならこのような高貴な方を李垠殿下のもとに嫁がせることはなかつたであらう。因みに宮内省はお二人のために一九三〇年に新居を建設した。現在の赤坂プリンスホテル別館である。また清朝最後の皇帝また満州帝國皇帝であつた溥儀殿下の弟君である溥儀殿下のもとに嫁がれたのは、日本の華族薩摩家の嵯峨浩妃殿下である。

と日本の満州や朝鮮や台湾に對する思い入れは、列強

の植民地イギリスのこと。がせる。リカ。前。族。差別。ある。別撤。時日本。の間で。國は連。九一五。の言。合意。常。九。年。押。持。部。合。の。下。た。千。六。東。京。軍。黨。喜。重。の。基本。さ。の。山。院。に。いた。リカ。た。ア。米。戦。



田母神俊雄

史を取り戻さなければならない。歴史を抹殺された国家は衰退の一途を辿るのみである。